

# 第23回

## 定時株主総会招集ご通知

株主総会当日までの感染拡大の状況や政府等の発表内容等により対応を更新する場合がございます。インターネット上の当社ウェブサイト (<http://www.createsdhd.co.jp>) より発信情報をご確認くださいようお願い申し上げます。

**開催日時** 2020年8月21日（金曜日）  
午前10時（受付開始 午前9時）

**開催場所** 株式会社クリエイトSDホールディングス  
本社 4階会議室（東急田園都市線江田駅）

■本年は会場を本社に変更いたしました  
■事前にご出席のお申込みをいただき、入場カードをお持ちの株主様のみご入場いただけます（事前登録制）

### 【当日のご来場は極力お控えください】

- 感染防止のため、当日のご来場に代えて、議決権行使書の郵送をお願い申し上げます。
- 当日のご来場には事前のお申込みをお願いいたします。希望者多数の場合は抽選となります。
- 会場は座席間隔を拡げることから、ご用意できる座席数は例年の1割程度に減少しております。
- 本年はお土産をご用意しておりません。健康相談会等のイベントも中止いたします。

### 目次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| ▶ 第23回定時株主総会招集ご通知             | 1  |
| 【添付書類】                        |    |
| ▶ 事業報告                        | 3  |
| ▶ 連結計算書類                      | 17 |
| ▶ 計算書類                        | 20 |
| ▶ 監査報告書                       | 23 |
| ▶ 株主総会参考書類                    |    |
| 第1号議案 剰余金処分の件                 | 31 |
| 第2号議案 取締役（監査等委員である者を除く）6名選任の件 | 32 |
| 第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件    | 38 |

証券コード 3148  
2020年8月4日

株 主 各 位

横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2  
株式会社クリエイトSDホールディングス  
代表取締役社長 廣 瀬 泰 三

## 第23回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第23回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申しあげます。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、開催規模を大幅に縮小し開催することにいたしました。株主の皆様におかれましては、極力、書面による事前の議決権行使をいただき、株主様の健康状態にかかわらず、株主総会当日のご来場をお控えいただくよう強くお願い申しあげます。

また、会場座席数に限りがあるため、ご出席希望の株主様は予めお申込みをお願い申しあげます。2ページの注記および別紙（第23回定時株主総会についてのお知らせ）に記載のとおり、事前登録をお願い申しあげます。本年は、ご出席の株主様へのお土産のご用意および健康相談会等のイベント開催はございません。

株主総会参考書類をご検討いただき、お手数ながら同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、2020年8月20日（木曜日）午後6時までに到着するようにご返送いただきたくお願い申しあげます。

敬 具

記

- |        |  |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 2020年8月21日（金曜日）午前10時（受付開始 午前9時）  |
| 2. 場 所 | 横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2<br>株式会社クリエイトSDホールディングス本社4階会議室<br>本年は新型コロナウイルス感染防止のため開催規模を縮小し、例年の会場から当社本社会議室に変更いたしました。末尾の会場ご案内図をご参照ください。 |

### 3. 目的事項 報告事項

1. 第23期（2019年6月1日から2020年5月31日まで）  
事業報告及び連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第23期（2019年6月1日から2020年5月31日まで）  
計算書類報告の件

### 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件  
第2号議案 取締役（監査等委員である者を除く）6名選任の件  
第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

以上

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎経済産業省・法務省の「株主総会運営に係るQ&A」に基づき、本年は会場席数に限りがあるため、**本総会は事前にお申込み、ご登録いただいた株主様のみご出席いただけます。**なお、事前登録の希望者が多数の際には抽選させていただく場合や事前のお申込み、ご登録がない株主様のご入場をお断りする場合がございます。  
事前登録は2020年8月13日（木曜日）午後6時までに下記Eメールアドレスへお申込みください。事前登録の結果は8月14日（金曜日）にEメールでご連絡いたします。

送付先Eメールアドレス：touroku2020@create-sd.co.jp

Eメール件名：(株主番号8桁) 出席申込

送付いただくご内容：①氏名（フルネーム）、②郵便番号、③ご住所

◎以下の事項につきましては、法令および定款第16条の規定に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス=<http://www.createshdh.co.jp/>）に掲載しておりますので、本招集ご通知には記載していません。したがって、本招集ご通知の添付書類は、監査報告を作成するに際し、監査等委員会および会計監査人が監査をした対象の一部であります。

①業務の適正を確保するための体制およびその運用状況

②連結計算書類の連結注記表

③計算書類の個別注記表

◎なお、本招集ご通知に掲載しております事業報告、計算書類および連結計算書類並びに株主総会参考書類に修正が生じた場合には、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス=<http://www.createshdh.co.jp/>）において周知させていただきます。

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により、緩やかな景気回復の動きがみられたものの、米中貿易摩擦、英国EU離脱問題、原油価格及び為替相場の動向に加えて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的な影響、緊急事態宣言発令による自粛ムードの広がり、経済活動の停滞などにより不透明な状況となっております。

ドラッグストア業界におきましては、競合他社の出店や価格競争に加え、他業種からの参入や企業の統合・再編の動きが強まっており、厳しい環境が続いております。また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一部商品の需要急増による買い占め、供給不足への問い合わせなどの混乱が発生し、対応に追われるとともに、感染リスクを最小限に抑えながらの経営が続いております。

このような状況の中、当社グループは引き続き「生活・予防・医療・介護」の各領域において地域に貢献する総合ヘルスケアサポートを推進してまいりました。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、小商圈において繰り返しご来店いただくための利便性の向上及び健康サポート機能を付加することによる専門性の向上に継続して取り組んでまいりました。

売上高につきましては、前期からの新規出店による店舗数増加や、調剤部門が堅調に推移したことに加え、消費税増税前の駆け込み需要に対する施策、自社電子マネー機能付きポイントカード「おさいふHippo」の導入・利用推進施策の奏功、さらには新型コロナウイルス感染拡大に伴う商品需要も加わり前期及び計画を上回る結果となりました。

利益面につきましても、人件費の上昇やキャッシュレス推進に伴う経費増加要因がありましたが、上記施策などによる増収効果により前期及び計画を上回る結果となりました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、ビューティ強化型のCrema(クレモ)を含め28店舗の新規出店を行いました。一方で契約期間満了により1店舗、経営効率化の観点から1店舗の閉鎖を行いました。

調剤薬局につきましては、地域医療に貢献するため、健康サポート機能を有する「かかりつけ薬局」を目指し、薬剤師の育成に注力するとともに地域での医療連携の強化及び在宅医療への対応拡大を推進してまいりました。それに伴い処方箋応需枚数も順調に増加いたしました。

調剤薬局の新規出店につきましては、調剤専門薬局を1店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局を22店舗開局いたしました。一方で経営効率化の観点から調剤専門薬局1店舗を閉局いたしました。

また、当社子会社株式会社クリエイトエス・ディーが神奈川県川崎市北部において食品スーパー「ゆりストア」を展開する百合ヶ丘産業株式会社を2020年2月に子会社化いたしました。

#### <有料老人ホーム事業>

有料老人ホーム事業につきましては、ペットと一緒に暮らせるお部屋、美味しい食事や多彩なイベントを特色とする介護付有料老人ホーム2施設を運営しております。

当連結会計年度におきましては、営業活動を通じて入居率の向上を図ってまいりましたが、2020年3月以降は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ご入居者様の安全を第一に考え感染防止対策に注力してまいりました。

#### <デイサービス事業>

デイサービス事業につきましては、高齢者の方が長くご自宅で暮らすための生活機能訓練を特色とする半日型のデイサービスセンターを中心に運営しております。

当連結会計年度におきましては、収益性向上のため、5施設の定員拡大を行いました。2020年3月以降は新型コロナウイルス感染拡大による利用自粛はあったものの、感染防止対策を行いつつ全施設運営を続けてまいりました。

以上により、当連結会計年度末の当社グループの店舗数はドラッグストア625店舗、調剤薬局では調剤専門薬局34店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局196店舗の合計230店舗となり、子会社化によりスーパーマーケット5店舗、有料老人ホーム事業では介護付有料老人ホーム2施設、デイサービス事業ではデイサービスセンター39施設となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は319,588百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は17,793百万円（同24.9%増）、経常利益は18,210百万円（同24.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は12,254百万円（同26.1%増）となりました。

主要な事業別連結売上状況は次のとおりであります。

| 区 分         | 前期<br>(2019年5月期) |       | 当期<br>(2020年5月期) |       | 増減額<br>金額 |
|-------------|------------------|-------|------------------|-------|-----------|
|             | 金額               | 構成比   | 金額               | 構成比   |           |
|             | 百万円              | %     | 百万円              | %     | 百万円       |
| ドラッグストア事業   | 284,270          | 99.3  | 316,249          | 99.0  | 31,978    |
| 有料老人ホーム事業   | 698              | 0.2   | 688              | 0.2   | △10       |
| デイサービス事業    | 1,330            | 0.5   | 1,376            | 0.4   | 46        |
| スーパーマーケット事業 | —                | —     | 1,274            | 0.4   | 1,274     |
| 合 計         | 286,299          | 100.0 | 319,588          | 100.0 | 33,289    |

## ② 設備投資の状況

当連結会計年度における設備投資額は9,982百万円で、その主なものは新規出店に伴い取得した有形固定資産、店舗賃貸借に係る建設協力金、敷金・保証金及び出店予約金などであります。

なお、所要資金は自己資金により賄っております。

## ③ 資金調達の状況

当連結会計年度においては、特記すべき資金調達は行っておりません。

④ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

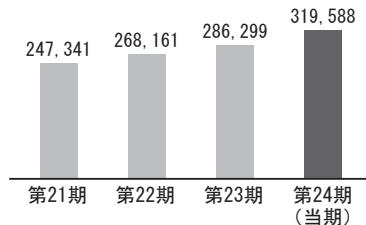
特記すべき事項はありません。

## (2) 財産及び損益の状況の推移

| 区 分             | 第 20 期     | 第 21 期     | 第 22 期<br>(前連結会計年度) | 第 23 期<br>(当連結会計年度) |
|-----------------|------------|------------|---------------------|---------------------|
|                 | 2017年 5 月期 | 2018年 5 月期 | 2019年 5 月期          | 2020年 5 月期          |
| 売 上 高           | 247,341百万円 | 268,161百万円 | 286,299百万円          | 319,588百万円          |
| 経 常 利 益         | 14,768百万円  | 14,236百万円  | 14,623百万円           | 18,210百万円           |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 10,119百万円  | 9,540百万円   | 9,719百万円            | 12,254百万円           |
| 1株当たり当期純利益      | 160円 07銭   | 150円 92銭   | 153円 75銭            | 193円 85銭            |
| 総 資 産           | 110,480百万円 | 121,412百万円 | 133,315百万円          | 153,423百万円          |
| 純 資 産           | 61,901百万円  | 69,377百万円  | 76,889百万円           | 86,776百万円           |
| 1株当たり純資産額       | 979円 17銭   | 1,097円 42銭 | 1,216円 24銭          | 1,372円 65銭          |

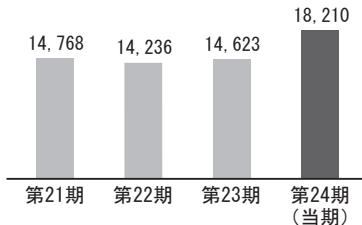
### 売上高

単位：百万円



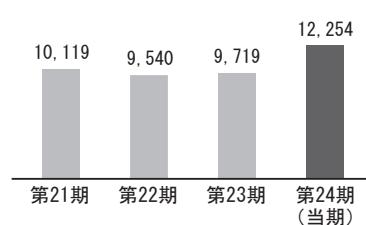
### 経常利益

単位：百万円



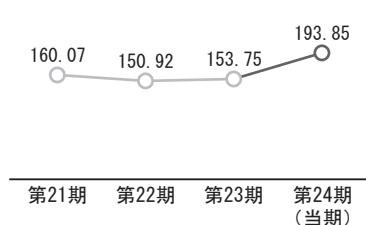
### 親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



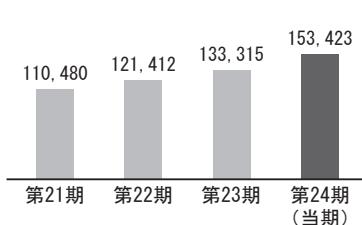
### 1株当たり当期純利益

単位：円



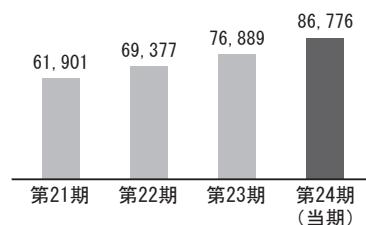
### 総資産

単位：百万円



### 純資産

単位：百万円



## (3) 重要な親会社及び子会社の状況 (2020年5月31日現在)

## ① 親会社との関係

該当事項はありません。

## ② 重要な子会社の状況

| 会社名            | 資本金          | 当社の出資比率   | 主要な事業内容                        |
|----------------|--------------|-----------|--------------------------------|
| (株)クリエイトエス・ディー | 1,305<br>百万円 | 直接100.0 % | 医薬品、化粧品、食料品、日用雑貨品等の販売及び調剤薬局の経営 |
| ウエルライフ(株)      | 338<br>百万円   | 直接100.0 % | 介護付有料老人ホームの経営                  |
| (株)サロンデイ       | 35<br>百万円    | 直接100.0 % | デイサービスセンターの経営                  |
| 百合ヶ丘産業(株)      | 50<br>百万円    | 間接100.0 % | スーパーマーケットの経営                   |

## ③ 特定完全子会社に関する事項

| 会社名            | 住所               | 帳簿価額の合計額  | 当社の総資産額   |
|----------------|------------------|-----------|-----------|
| (株)クリエイトエス・ディー | 横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2 | 24,960百万円 | 41,972百万円 |

#### (4) 対処すべき課題

ドラッグストア業界を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染拡大により国内外の経済情勢、個人消費、企業活動への多大な影響が懸念され、加えて業界の垣根を越えたより一層の競争激化や業界再編の動きの活発化が考えられ、厳しい経営環境が続くと想定されます。

一方で、わが国は世界でも類を見ない急速な高齢化により医療費は増加の一途をたどっており、現在の医療体系を変革する必要性に迫られております。

このような状況の中で、当社グループは、地域での総合ヘルスケアサポートに根ざした強固なドミナント形成によるエリア内でのシェアアップを引き続き推進してまいります。

また、ウィズコロナ、アフターコロナの新常態として、販促による集客の波をつくらないEDLP（エブリデイ・ロー・プライス）を強化、接触機会及びレジ待ち時間を低減する自社電子マネー機能付きポイントカード「おさいふHippo」の利用促進、調剤待ち時間を短縮する処方箋送信機能付きお薬手帳アプリの利用促進などの施策を推進してまいります。

介護事業につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行いつつ、有料老人ホームでは、美味しい食事の提供、後方業務の効率化による対人サービスの充実などにより、またデイサービス事業では、機能訓練やレクリエーションの質の充実を図り、顧客満足度の向上を目指してまいります。

### (5) 主要な事業内容（2020年5月31日現在）

当社は、グループ会社各社の経営指導及び管理を行っております。

なお、当社グループは、当社と連結子会社4社、非連結子会社2社で構成され、医薬品、化粧品、食料品、日用雑貨品等の販売及び調剤を行うドラッグストア事業を核に、スーパーマーケット事業、有料老人ホーム事業及びデイサービス事業等を行っております。

### (6) 主要な事業所及び店舗（2020年5月31日現在）

#### ① 当社

本社 横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2

#### ② 主要な子会社の事業所

##### イ. 株式会社クリエイトエス・ディー

本社 横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2

店舗 神奈川県 375店舗

東京都 106店舗

静岡県 88店舗

千葉県 46店舗

その他 44店舗

計 659店舗

##### ロ. ウェルライフ株式会社

本社 東京都足立区佐野二丁目16番1号

事業所 東京都 2施設

計 2施設

##### ハ. 株式会社サロンデイ

本社 横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2

事業所 神奈川県 31施設

東京都 8施設

計 39施設

##### ニ. 百合ヶ丘産業株式会社

本社 川崎市麻生区百合丘一丁目1番地

店舗 神奈川県 5店舗

計 5店舗

(7) 従業員の状況 (2020年5月31日現在)

① 企業集団の従業員の状況

| 区 分    | 従 業 員 数 | 前期末比増減 | 平 均 年 齢 | 平均勤続年数 |
|--------|---------|--------|---------|--------|
| 合計又は平均 | 3,675名  | +297名  | 32.4歳   | 6.7年   |

(注) 上記従業員のほか、臨時従業員の期末雇用人員は3,010名であります。(1日8時間換算)

② 当社の従業員の状況

| 区 分    | 従 業 員 数 | 前期末比増減 | 平 均 年 齢 | 平均勤続年数 |
|--------|---------|--------|---------|--------|
| 合計又は平均 | 8名      | ±0名    | 49.7歳   | 15.1年  |

(注) 当社従業員は、すべて連結子会社の㈱クリエイトエス・ディーからの出向者であり、平均勤続年数の算定にあたっては当該会社の勤続年数を通算しております。

(8) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の現況（2020年5月31日現在）

### (1) 株式の状況

- ① 発行可能株式総数 264,000,000株  
 ② 発行済株式の総数 66,819,342株（自己株式 3,600,686株を含む）  
 ③ 株主数 17,658名  
 ④ 大株主

| 株 主 名   | 当 社 へ の 出 資 状 況 |         |
|---|-----------------|---------|
|   | 持 株 数           | 持 株 比 率 |
| 山 本 洋 平   | 18,534,672株     | 29.31%  |
| 山 本 久 雄   | 13,996,065株     | 22.13%  |
| BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND<br>(PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) | 5,254,000株      | 8.31%   |
| 山 本 いつ子   | 3,136,065株      | 4.96%   |
| (株)P A L T A C  | 1,702,800株      | 2.69%   |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)   | 1,556,700株      | 2.46%   |
| クリエイトエス・ディー従業員持株会   | 1,057,900株      | 1.67%   |
| STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02                                      | 999,323株        | 1.58%   |
| BBH FOR FIDELITY PURITAN TR : FIDELITY SR<br>INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND     | 930,000株        | 1.47%   |
| BBH FOR FIDELITY GROUP TRUSTBENEFIT<br>(PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)    | 883,900株        | 1.39%   |

(注) 持株比率は、自己株式(3,600,686株)を控除し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。

- ⑤ その他株式に関する重要な事項  
 該当事項はありません。

### (2) 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

## (3) 会社役員の状況

## ① 取締役の状況

| 会社における地位   | 氏名    | 担当及び重要な兼職の状況   |
|------------|-------|--|
| 代表取締役会長    | 山本久雄  | (株)クリエイトエス・ディー代表取締役会長  |
| 代表取締役社長    | 廣瀬泰三  | (株)クリエイトエス・ディー代表取締役社長<br>ウエルライフ(株)取締役<br>(株)サロンドイ取締役<br>百合ヶ丘産業(株)取締役                     |
| 専務取締役      | 山本いつ子 | (株)クリエイトエス・ディー専務取締役人事本部長   |
| 常務取締役      | 齊藤 宰  | (株)クリエイトエス・ディー常務取締役<br>(株)エスタ代表取締役社長   |
| 取締役        | 中浦茂人  | (株)クリエイトエス・ディー取締役生産性向上推進本部長  |
| 取締役        | 笠川薫朗  | 人事部長<br>(株)クリエイトエス・ディー取締役人事本部採用教育部長<br>(株)クリエイトビギン代表取締役社長<br>(株)サロンドイ取締役<br>ウエルライフ(株)監査役 |
| 取締役(監査等委員) | 馬庭修一  | (株)クリエイトエス・ディー常勤監査役<br>(株)サロンドイ監査役   |
| 取締役(監査等委員) | 原 幸雄  | (株)クリエイトエス・ディー監査役  |
| 取締役(監査等委員) | 川村延彦  | サンライズ法律事務所弁護士  |

- (注) 1. 取締役のうち原幸雄氏及び川村延彦氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査等委員川村延彦氏は、弁護士として培われた専門性に加え、他社において監査役等として企業経営に長年関与された経験を有しております。
3. 監査等委員原幸雄氏及び川村延彦氏につきましては、東京証券取引所に対し独立役員として届け出ております。
4. (株)エスタ、(株)クリエイトビギン及び百合ヶ丘産業(株)は、いずれも当社の主要な子会社である(株)クリエイトエス・ディー100%出資の子会社であります。

## ② 責任限定契約の内容の概要

当社は、会社法第427条第1項及び当社定款の規定に基づき、監査等委員である取締役との間で責任限定契約を締結しております。当該契約に基づく同法第423条第1項の損害賠償責任の限度額は、法令に定める最低責任限度額としておりません。

## ③ 取締役の報酬等の総額

| 区 分                        | 人 数        | 報 酬 等 の 額        |
|----------------------------|------------|------------------|
| 取締役（監査等委員を除く）<br>（うち社外取締役） | 6名<br>（一名） | 325百万円<br>（一百万円） |
| 取締役（監査等委員）<br>（うち社外取締役）    | 3名<br>（2名） | 18百万円<br>（9百万円）  |
| 計                          | 9名         | 343百万円           |

- (注) 1. 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分報酬等は含まれておりません。  
2. 2015年8月21日開催の第18回定時株主総会決議による報酬等限度額は、取締役（監査等委員を除く）年額400百万円以内、取締役（監査等委員）年額40百万円以内であります。

## ④ 常勤の監査等委員の選定の有無及びその理由

当社は、監査等委員の監査・監督機能を強化し、取締役（監査等委員を除く）からの情報収集及び重要な社内会議における情報共有並びに内部監査部門と監査等委員会との十分な連携を可能にするため、馬庭修一氏を常勤の監査等委員として選定しております。

## ⑤ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の社外役員の内兼任状況

| 氏 名     | 兼任の職務   | 会社名        |
|---------|---------|------------|
| 川 村 延 彦 | 社外取締役   | セントラルスポーツ㈱ |
|         | （監査等委員） |            |
|         | 社外監査役   | 西武ポリマ化成㈱   |

- (注) 川村延彦氏が取締役を兼務しているセントラルスポーツ㈱及び監査役を兼務している西武ポリマ化成㈱と当社との間には、特別な関係はありません。

## ロ. 当事業年度における各社外役員の子な活動状況

| 氏名      | 区分               | 主な活動状況   |
|---------|------------------|--|
| 原 幸 雄   | 社外取締役<br>(監査等委員) | 当事業年度に開催された取締役会及び監査等委員会のすべてに出席し、企業経営に関する豊富な知識と経験から適宜発言を行っております。          |
| 川 村 延 彦 | 社外取締役<br>(監査等委員) | 当事業年度に開催された取締役会及び監査等委員会のすべてに出席し、必要に応じ、弁護士としての専門的見地と高い見識に基づき適宜発言を行っております。 |

(注) 当事業年度における取締役会の開催回数は18回、監査等委員会の開催回数は13回であります。

## (4) 会計監査人の状況

## ① 名称

三優監査法人

## ② 報酬等の額

| 項 目                                 | 支払額   |
|-------------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                 | 8百万円  |
| 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 38百万円 |

- (注) 1. 当社監査等委員会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、監査計画における監査時間、要員配置などを確認し、検討した結果、監査報酬等につき、会社法第399条第1項の同意を行っております。
2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、当事業年度に係る報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

### ③ 非監査業務の内容

該当事項はありません。

### ④ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

当社では、会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当すると認められる場合は、監査等委員である取締役全員の同意に基づき監査等委員会が会計監査人を解任いたします。

また、上記の場合のほか、当社監査等委員会は、会計監査人の適格性、独立性等を害する事由の発生により、適正な監査の遂行が困難であると認められる場合には、会計監査人の解任又は不再任に関する議案を決定し、当社取締役会は、当該決定に基づき、当該議案を株主総会に提案いたします。

### (5) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと認識しており、積極的な業容の拡大と事業展開に備えるため内部留保金の充実を図りながら、連結配当性向、連結純資産配当率を総合的に勘案し、継続的、安定的に配当していくことを基本方針としております。

当連結会計年度におきましては、上記配当方針に従い2020年8月21日開催予定の定時株主総会において、期末配当金を1株につき普通配当21円とすることを付議する予定であります。

## 連結貸借対照表

(2020年5月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部         |                | 負 債 の 部            |                |
|-----------------|----------------|--------------------|----------------|
| 科 目             | 金 額            | 科 目                | 金 額            |
| <b>流動資産</b>     | <b>87,162</b>  | <b>流動負債</b>        | <b>59,595</b>  |
| 現金及び預金          | 40,788         | 買掛金                | 42,144         |
| 売掛金             | 8,521          | 未払法人税等             | 3,787          |
| 商品              | 29,931         | 賞与引当金              | 301            |
| 貯蔵品             | 38             | 役員賞与引当金            | 115            |
| その他             | 7,881          | 店舗閉鎖損失引当金          | 13             |
| <b>固定資産</b>     | <b>66,261</b>  | ポイントカード引当金         | 3,446          |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>36,664</b>  | 資産除去債務             | 24             |
| 建物及び構築物         | 19,174         | その他                | 9,763          |
| 土地              | 13,170         | <b>固定負債</b>        | <b>7,050</b>   |
| その他             | 4,318          | 退職給付に係る負債          | 2,512          |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>1,261</b>   | 資産除去債務             | 3,051          |
| のれん             | 832            | 転貸損失引当金            | 37             |
| その他             | 428            | その他                | 1,450          |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>28,336</b>  | <b>負債合計</b>        | <b>66,646</b>  |
| 投資有価証券          | 141            |                    |                |
| 長期貸付金           | 9,088          | <b>純 資 産 の 部</b>   |                |
| 繰延税金資産          | 5,219          | <b>株主資本</b>        | <b>86,933</b>  |
| 敷金及び保証金         | 10,190         | 資本金                | 1,000          |
| その他             | 3,729          | 資本剰余金              | 934            |
| 貸倒引当金           | △33            | 利益剰余金              | 89,392         |
|                 |                | 自己株式               | △4,393         |
|                 |                | <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>△156</b>    |
|                 |                | その他有価証券評価差額金       | 17             |
|                 |                | 退職給付に係る調整累計額       | △174           |
| <b>資産合計</b>     | <b>153,423</b> | <b>純資産合計</b>       | <b>86,776</b>  |
|                 |                | <b>負債・純資産合計</b>    | <b>153,423</b> |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(2019年6月1日から  
2020年5月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目             | 金     | 額       |
|-----------------|-------|---------|
| 売上高             |       | 319,588 |
| 売上原価            |       | 230,602 |
| 売上総利益           |       | 88,986  |
| 販売費及び一般管理費      |       | 71,192  |
| 営業利益            |       | 17,793  |
| 営業外収益           |       |         |
| 受取利息            | 105   |         |
| 受取配当金           | 0     |         |
| 什器受贈益           | 95    |         |
| 受取賃貸料           | 203   |         |
| その他             | 159   | 564     |
| 営業外費用           |       |         |
| 支払利息            | 1     |         |
| 貸倒引当金繰入額        | 0     |         |
| 支払補償費           | 2     |         |
| 賃貸費用            | 134   |         |
| その他             | 8     | 148     |
| 経常利益            |       | 18,210  |
| 特別利益            |       |         |
| 補助金収入           | 12    | 12      |
| 特別損失            |       |         |
| 減損損失            | 727   |         |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額    | 13    |         |
| 固定資産圧縮損         | 12    |         |
| その他             | 5     | 758     |
| 税金等調整前当期純利益     |       | 17,463  |
| 法人税、住民税及び事業税    | 5,952 |         |
| 法人税等調整額         | △744  | 5,208   |
| 当期純利益           |       | 12,254  |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 |       | —       |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |       | 12,254  |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(2019年6月1日から  
2020年5月31日まで)

(単位：百万円)

|                               | 株 主 資 本 |       |        |        |        |
|-------------------------------|---------|-------|--------|--------|--------|
|                               | 資本金     | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式   | 株主資本合計 |
| 当期首残高                         | 1,000   | 934   | 79,476 | △4,393 | 77,018 |
| 連結会計年度中の変動額                   |         |       |        |        |        |
| 剰余金の配当                        |         |       | △2,339 |        | △2,339 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益               |         |       | 12,254 |        | 12,254 |
| 自己株式の取得                       |         |       |        | △0     | △0     |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額(純額) |         |       |        |        |        |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | —       | —     | 9,915  | △0     | 9,915  |
| 当期末残高                         | 1,000   | 934   | 89,392 | △4,393 | 86,933 |

|                               | その他の包括利益累計額      |                  |                   | 純資産合計  |
|-------------------------------|------------------|------------------|-------------------|--------|
|                               | その他有価証券<br>評価差額金 | 退職給付に係<br>る調整累計額 | その他の包括<br>利益累計額合計 |        |
| 当期首残高                         | 11               | △140             | △128              | 76,889 |
| 連結会計年度中の変動額                   |                  |                  |                   |        |
| 剰余金の配当                        |                  |                  |                   | △2,339 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益               |                  |                  |                   | 12,254 |
| 自己株式の取得                       |                  |                  |                   | △0     |
| 株主資本以外の項目の<br>連結会計年度中の変動額(純額) | 5                | △33              | △28               | △28    |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | 5                | △33              | △28               | 9,887  |
| 当期末残高                         | 17               | △174             | △156              | 86,776 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(2020年5月31日現在)

(単位：百万円)

| 資 産 の 部         |               | 負 債 の 部          |               |
|-----------------|---------------|------------------|---------------|
| 科 目             | 金 額           | 科 目              | 金 額           |
| <b>流動資産</b>     | <b>16,249</b> | <b>流動負債</b>      | <b>178</b>    |
| 現金及び預金          | 15,519        | 未払金              | 18            |
| 営業未収入金          | 156           | 未払費用             | 3             |
| 未収還付法人税等        | 563           | 預り金              | 7             |
| 前払費用            | 2             | 賞与引当金            | 0             |
| その他             | 8             | 役員賞与引当金          | 99            |
| <b>固定資産</b>     | <b>25,722</b> | その他              | 47            |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>25,722</b> | <b>負債合計</b>      | <b>178</b>    |
| 関係会社株式          | 25,704        | <b>純 資 産 の 部</b> |               |
| 関係会社長期貸付金       | 1,085         | <b>株主資本</b>      | <b>41,793</b> |
| 繰延税金資産          | 17            | 資本金              | 1,000         |
| 貸倒引当金           | △1,085        | 資本剰余金            | 22,704        |
|                 |               | 資本準備金            | 8,595         |
|                 |               | その他資本剰余金         | 14,109        |
|                 |               | 利益剰余金            | 22,482        |
|                 |               | その他利益剰余金         | 22,482        |
|                 |               | 繰越利益剰余金          | 22,482        |
|                 |               | 自己株式             | △4,393        |
| <b>資産合計</b>     | <b>41,972</b> | <b>純資産合計</b>     | <b>41,793</b> |
|                 |               | <b>負債・純資産合計</b>  | <b>41,972</b> |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損 益 計 算 書

( 2019年6月1日から  
2020年5月31日まで )

(単位：百万円)

| 科 目          | 金   | 額     |
|--------------|-----|-------|
| 営業収益         |     | 6,508 |
| 営業費用         |     | 561   |
| 営業利益         |     | 5,947 |
| 営業外収益        |     |       |
| 受取利息         | 1   |       |
| 法人税等還付加算金    | 0   |       |
| 未払配当金除斥益     | 1   | 3     |
| 営業外費用        |     |       |
| 関係会社貸倒引当金繰入額 | 130 | 130   |
| 経常利益         |     | 5,820 |
| 税引前当期純利益     |     | 5,820 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 427 |       |
| 法人税等調整額      | △2  | 425   |
| 当期純利益        |     | 5,395 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(2019年6月1日から  
2020年5月31日まで)

(単位：百万円)

|             | 株 主 資 本 |              |                       |                     |  |                     |
|-------------|---------|--------------|-----------------------|---------------------|--|---------------------|
|             | 資本金     | 資 本 剰 余 金    |                       |                     | 利 益 剰 余 金                              |                     |
|             |         | 資 本<br>準 備 金 | そ の 他<br>資 本<br>剰 余 金 | 資 本<br>剰 余 金<br>合 計 | そ の 他 利<br>益 剰 余 金<br>繰 越 利 益<br>剰 余 金 | 利 益<br>剰 余 金<br>合 計 |
| 当期首残高       | 1,000   | 8,595        | 14,109                | 22,704              | 19,426                                 | 19,426              |
| 事業年度中の変動額   |         |              |                       |                     |  |                     |
| 剰余金の配当      |         |              |                       |                     | △2,339                                 | △2,339              |
| 当期純利益       |         |              |                       |                     | 5,395                                  | 5,395               |
| 自己株式の取得     |         |              |                       |                     |  |                     |
| 事業年度中の変動額合計 | —       | —            | —                     | —                   | 3,055                                  | 3,055               |
| 当期末残高       | 1,000   | 8,595        | 14,109                | 22,704              | 22,482                                 | 22,482              |

|             | 株 主 資 本 |             | 純資産合計  |
|-------------|---------|-------------|--------|
|             | 自己株式    | 株主資本<br>合 計 |        |
| 当期首残高       | △4,393  | 38,738      | 38,738 |
| 事業年度中の変動額   |         |             |        |
| 剰余金の配当      |         | △2,339      | △2,339 |
| 当期純利益       |         | 5,395       | 5,395  |
| 自己株式の取得     | △0      | △0          | △0     |
| 事業年度中の変動額合計 | △0      | 3,055       | 3,055  |
| 当期末残高       | △4,393  | 41,793      | 41,793 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

### 独立監査人の監査報告書

2020年7月13日

株式会社クリエイトSDホールディングス  
取締役会 御中

#### 三優監査法人

東京事務所

|         |       |           |
|---------|-------|-----------|
| 指 定 社 員 | 公認会計士 | 岩 田 亘 人 ㊞ |
| 業務執行社員  |       |           |
| 指 定 社 員 | 公認会計士 | 長 田 洋 和 ㊞ |
| 業務執行社員  |       |           |

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社クリエイトSDホールディングスの2019年6月1日から2020年5月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社クリエイトSDホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 連結計算書類に対する経営者並びに監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

## 独立監査人の監査報告書

2020年7月13日

株式会社クリエイトSDホールディングス  
取締役会 御中

## 三優監査法人

東京事務所

|                |       |          |
|----------------|-------|----------|
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 岩田 亘 人 ⑩ |
| 指定社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 長田 洋 和 ⑩ |

## 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社クリエイトSDホールディングスの2019年6月1日から2020年5月31日までの第23期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 計算書類等に対する経営者並びに監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査等委員会の監査報告書 謄本

## 監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2019年6月1日から2020年5月31日までの第23期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容並びに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- ①監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- ②会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人三優監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人三優監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年7月13日

株式会社クリエイトSDホールディングス 監査等委員会  
常勤監査等委員 馬 庭 修 一 ⑩  
監 査 等 委 員 原 幸 雄 ⑩  
監 査 等 委 員 川 村 延 彦 ⑩

(注) 監査等委員 原幸雄及び川村延彦は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上

# 株主総会参考書類

## 第1号議案 剰余金処分の件

当社は、業績を反映しつつ安定的に配当するという観点及び株主の皆様からお預かりしている資金に対する還元という考えのもとに、連結配当性向及び連結純資産配当率を総合的に勘案して配当を実施したいと考えております。

第23期の期末配当金につきましては、この基本方針に基づき1株につき21円とさせていただきますと存じます。

これにより当期の年間配当金は、先に実施いたしました中間配当金19円を含め、前期よりも1株につき4円増配の40円となります。

### 期末配当に関する事項

#### (1) 配当財産の種類

金銭

#### (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき 21円

配当総額 1,327,591,776円

#### (3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2020年8月24日

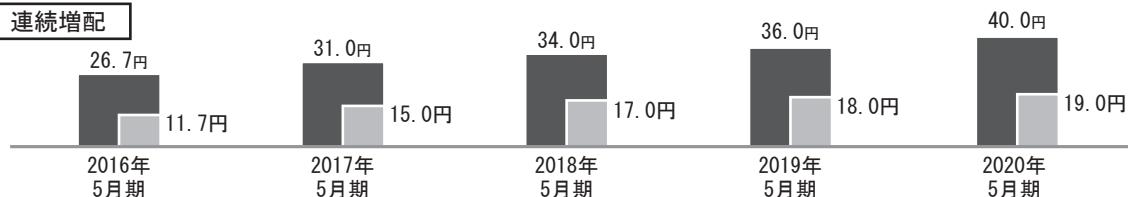
### ○ 1株当たり配当金／連結配当性向／連結純資産配当率

— 連結配当性向 — 連結純資産配当率



### ■ 1株当たり配当金 (■ 中間期 ■ 通期)

連続増配



※2015年12月16日付で株式分割（普通株式1株につき3株）を行っており、2016年5月期の数値はこの株式分割後ベースに換算したものです。

## 第2号議案 取締役（監査等委員である者を除く）6名選任の件

取締役（監査等委員である者を除く。以下、本議案において同じ）6名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役6名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号  | 再任 | やまもと ひさお                              | ひさお       | 1948年4月7日生 | 所有する当社の株式数：13,996,065株 |
|--|----|---------------------------------------|-----------|------------|------------------------|
| 1  |    | <b>山本</b>                             | <b>久雄</b> |            |                        |
| <b>略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）</b>   |    |                                       |           |            |                        |
| 1983年5月  |    | (有)みどりドラッグストア（現(株)クリエイトエス・ディー）代表取締役社長 |           |            |                        |
| 1998年4月  |    | (有)ヤマモト（現当社）設立 代表取締役社長                |           |            |                        |
| 2002年8月  |    | (株)クリエイトエス・ディー代表取締役会長（現任）             |           |            |                        |
| 2008年10月   |    | 当社代表取締役会長（現任）                         |           |            |                        |
| 2014年6月  |    | グレートアンドグランド(株)取締役相談役（現任）              |           |            |                        |
| <b>取締役候補者とした理由</b>   |    |                                       |           |            |                        |
| 山本久雄氏は、郊外型ドラッグストアの礎を築くなど、当社グループの主要な事業会社である株式会社クリエイトエス・ディー設立以来、当社グループの事業を牽引し、経営の指揮及び監督を適切に行ってまいりました。引き続き、その経験、知見及び能力を、当社グループの更なる企業価値向上へ活かしたく、取締役候補者といたしました。 |    |                                       |           |            |                        |

候補者番号

2

再任

ひろせ たいぞう

廣瀬 泰三

1958年5月25日生

所有する当社の株式数：68,300株

## 略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）

|          |   |
|----------|---|
| 1990年12月 | (株)コーエイドラッグ設立 代表取締役社長   |
| 2007年1月  | (株)住商ドラッグストアーズ代表取締役副社長  |
| 2007年10月 | 同社代表取締役社長   |
| 2011年6月  | (株)クリエイトエス・ディー入社  |
| 2011年8月  | 同社取締役<br>当社取締役  |
| 2012年2月  | 当社取締役副社長<br>(株)クリエイトエス・ディー取締役副社長                              |
| 2012年8月  | 当社代表取締役社長（現任）<br>(株)クリエイトエス・ディー代表取締役社長（現任）<br>(株)サロンデイ取締役（現任） |
| 2013年8月  | ウェルライフ(株)取締役（現任）  |
| 2020年2月  | 百合ヶ丘産業(株)取締役（現任）  |

## 取締役候補者とした理由

廣瀬泰三氏は、長年にわたりドラッグストア事業、調剤薬局事業の企業経営に携わり、当社及び株式会社クリエイトエス・ディーの代表取締役として、2012年以来当社グループの事業経営の指揮及び監督を適切に行ってまいりました。引き続き、その経験、知見及び能力を、当社グループの更なる企業価値向上へ活かしたく、取締役候補者いたしました。

候補者番号

3

再任

やまもと

山本いつ子

こ

1950年9月4日生

所有する当社の株式数：3,136,065株

略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）

|          |   |
|----------|---|
| 1983年5月  | (有)みどりドラッグストア（現(株)クリエイトエス・ディー）取締役           |
| 1998年4月  | (有)ヤマモト（現当社）取締役                             |
| 2002年1月  | (株)クリエイトエス・ディー取締役人材開発部長                     |
| 2002年8月  | 同社常務取締役人材開発部長                               |
| 2008年10月 | 同社常務取締役人事本部長<br>当社常務取締役                     |
| 2008年12月 | 当社常務取締役人事部長                                 |
| 2014年9月  | 当社専務取締役人事部長<br>(株)クリエイトエス・ディー専務取締役人事本部長（現任） |
| 2015年3月  | 当社専務取締役（現任）                                 |

取締役候補者とした理由

山本いつ子氏は、当社グループの主要な事業会社である株式会社クリエイトエス・ディー設立時より、30年以上にわたり同社人事部門の担当取締役として、人材の採用・育成及び労務管理並びに福利厚生分野で手腕を発揮してまいりました。引き続き、その経験、知見、能力に加え、社会保険労務士としての専門的見地を当社グループの更なる企業価値向上へ活かしたく、取締役候補者といたしました。

|                   |    |                   |                 |             |                     |
|-------------------|----|-------------------|-----------------|-------------|---------------------|
| 候補者番号<br><b>4</b> | 再任 | さいとう<br><b>齊藤</b> | おさむ<br><b>宰</b> | 1960年4月27日生 | 所有する当社の株式数：133,000株 |
|-------------------|----|-------------------|-----------------|-------------|---------------------|

#### 略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）

|          |   |
|----------|---|
| 1984年6月  | (有)ハヤカワボディークラフト入社                           |
| 1992年6月  | (株)クリエイトエス・ディー入社                            |
| 1997年7月  | 同社ゾーンマネジャー                                  |
| 1998年7月  | 同社店舗運営グループ長                                 |
| 2000年6月  | 同社取締役店舗運営部長                                 |
| 2002年8月  | 同社取締役店舗運営本部長                                |
| 2008年7月  | (株)ヤマモト（現当社）取締役                             |
| 2012年10月 | (株)クリエイトエス・ディー取締役商品本部長<br>(株)エスタ代表取締役社長（現任） |
| 2014年9月  | 当社常務取締役（現任）<br>(株)クリエイトエス・ディー常務取締役（現任）      |

#### 取締役候補者とした理由

齊藤宰氏は、当社グループの主要な事業会社に入社以来、同社及び当社の取締役として長年にわたりドラッグストア事業の拡大と商圏内での競争力増大、顧客満足度向上に手腕を発揮してまいりました。引き続き、その経験、知見及び能力を、当社グループの更なる企業価値向上へ活かしたく、取締役候補者といたしました。

候補者番号

5

再任

なかうら

中浦

しげと

茂人

1954年11月7日生

所有する当社の株式数：6,800株

## 略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）

|          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 1978年4月  | ㈱ダイエー入社                            |
| 1997年3月  | 同社東北エリア エリアマネージャー                  |
| 2002年4月  | ㈱クリエイトエス・ディー入社                     |
| 2002年9月  | 同社経営企画室長                           |
| 2003年8月  | 同社取締役経営企画室長                        |
| 2008年7月  | ㈱ヤマモト（現当社）取締役                      |
| 2008年12月 | 当社取締役経営企画部長                        |
| 2011年9月  | 当社取締役（現任）<br>㈱クリエイトエス・ディー取締役宅配事業部長 |
| 2013年9月  | 同社取締役アシスト発注推進プロジェクトリーダー            |
| 2015年7月  | 同社取締役ローコスト・生産性向上プロジェクトリーダー         |
| 2016年2月  | 同社取締役生産性向上推進本部長（現任）                |

## 取締役候補者とした理由

中浦茂人氏は、20年以上にわたる小売業他社での経験を基に、当社グループの経営企画部門の責任者を務め、新規サービス・システムの導入を推進するなど、取締役として長年にわたり当社グループの経営、管理監督に手腕を発揮してまいりました。引き続き、その経験、知見及び能力を、当社グループの更なる企業価値向上へ活かしたく、取締役候補者といたしました。

候補者番号

6

再任

かきかわ

笠川

くにあき

薫朗

1957年7月11日生

所有する当社の株式数：4,800株

## 略歴、当社における地位及び担当（重要な兼職の状況）

|          |   |
|----------|---|
| 1980年4月  | (株)ダイエー入社   |
| 1999年2月  | 同社労務企画部長  |
| 2000年5月  | (株)ダイエーオリンピックスポーツクラブ取締役人事部長                       |
| 2002年4月  | コナミスポーツ(株)執行役員事業統合室長                              |
| 2002年9月  | (株)クリエイトエス・ディー入社 人材開発部次長                          |
| 2006年12月 | (株)クリエイトビギン代表取締役社長（現任）                            |
| 2008年10月 | (株)クリエイトエス・ディー執行役員人事本部人事部長                        |
| 2011年8月  | 同社取締役人事本部人事部長<br>当社取締役<br>(株)サロンデイ取締役（現任）         |
| 2011年9月  | 当社取締役経営企画部長<br>(株)クリエイトエス・ディー取締役経営企画室長            |
| 2012年8月  | ウェルライフ(株)取締役                                      |
| 2015年3月  | 当社取締役人事部長（現任）<br>(株)クリエイトエス・ディー取締役人事本部人事部長兼採用教育部長 |
| 2015年8月  | ウェルライフ(株)監査役（現任）                                  |
| 2018年4月  | (株)クリエイトエス・ディー取締役人事本部採用教育部長（現任）                   |

## 取締役候補者とした理由

笠川薫朗氏は、20年以上にわたる小売業等での経験を基に、当社グループの主要な事業会社の人事部門の管理者、当社グループの経営企画部門の責任者を務め、取締役として長年にわたり人材採用・育成及び労務管理、経営、管理監督に手腕を発揮してまいりました。引き続き、その経験、知見及び能力を、当社グループの更なる企業価値向上へ活かしたく、取締役候補者といたしました。

（注）各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

**第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件**

監査等委員である取締役が法令に定める員数を欠くことになる場合に備え、予め補欠の監査等委員である取締役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、監査等委員会の同意を得ております。

補欠の監査等委員である取締役の候補者は、次のとおりであります。

あんぼ ようこ  
**安 保 洋 子** 1959年12月16日生

所有する当社の株式数：一株

**略歴及び重要な兼職の状況**

|          |                            |
|----------|----------------------------|
| 1982年4月  | 日本電気(株)入社                  |
| 1983年5月  | 薬剤師免許取得                    |
| 1993年9月  | NASAジェット推進研究所留学            |
| 1995年4月  | 日本電気(株)宇宙ステーションシステム本部技術課長  |
| 2007年3月  | 東京大学法科大学院修了                |
| 2010年1月  | 弁護士登録<br>サンライズ法律事務所入所（現在）  |
| 2014年12月 | (株)smart-FOA社外監査役（現任）      |
| 2019年3月  | 日本弁護士連合会司法制度調査会 特別委嘱委員（現任） |
| 2019年6月  | 一般財団法人全日本剣道連盟 監事（現任）       |

**補欠の監査等委員である社外取締役候補者とした理由**

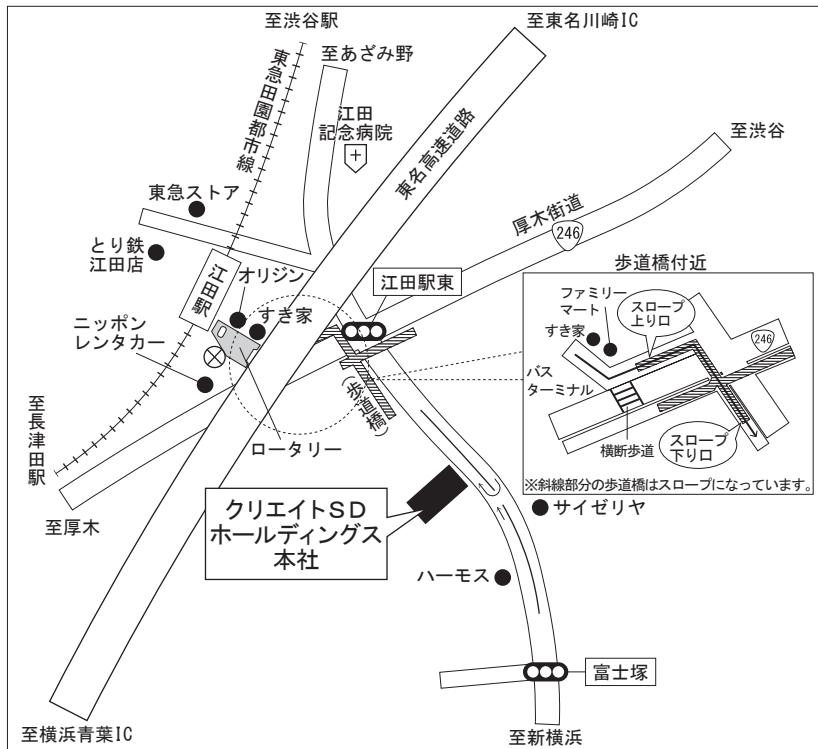
安保洋子氏は、民間企業での勤務経験に加え、薬剤師及び弁護士として培われた専門性と経験を有しており、これらを客観的かつ中立的な視点からの経営に関する指導及び監査等に活かしていただけるものと判断したため、補欠の監査等委員である社外取締役候補者としたしました。

- (注) 1. 候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 候補者は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしております。同氏が社外取締役に就任した場合、独立役員として同取引所に届け出る予定であります。
3. 候補者が、社外取締役として就任した場合、当社は同氏との間で会社法第427条第1項及び当社定款の規定による責任限定契約を締結する予定であります。当該契約に基づく会社法第423条第1項の損害賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額としております。

以 上

# 会場ご案内図

神奈川県横浜市青葉区荏田西二丁目3番地2  
株式会社クリエイトSDホールディングス 本社4階会議室  
Tel. 045-914-8241



東急田園都市線 江田駅から徒歩5分

(会場には駐車場・駐輪場の用意はございませんので、予めご了承ください。)